

三重県団体内統合宛名システムにおける業務システム連携実施状況

別紙 4

凡例 ○:連携 ー:連携不要

No	業務システム	対象業務	担当所属	業務システム⇒宛名システム				宛名システム⇒業務システム						連携方式			備考
				FC-001	FC-003	FC-004	FC-005	FC-006	FC-007	FC-011	FC-012	FC-015	FC-016	File形式	文字コード	連携方式	
				番 号 体 内 番 統 合 登 録 宛 名	基 本 4 情 報 登 録	情 報 照 会 登 録	録 特 定 個 人 情 報 登	(番 号 体 内 番 統 合 登 録 (状 況 確 認)	符 号 取 得 状 況	(情 報 照 会 登 録 (状 況 確 認)	果 (情 報 照 会 結 報 (特 定 個 人 情 報)	録 特 定 個 人 情 報 登 (エ ラ ー)	認 特 定 個 人 情 報 確				
1	児童相談所児童記録システム	C00711～C00716 C00761～C00766	児童相談センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	CSV	UTF-8	FTP	別表1(7)障害児入所給付費の事務(C00731～C00736)については、ファイル連携(FTP/媒体)は、行わない。
2	特定疾患・先天性血液凝固・小児慢性特定疾患・育成・養育・不妊治療 及び肝炎医療システム	C00702 C09801	健康づくり課	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	CSV	SJIS	媒体	
3	障害福祉サービス指定事業者等管理システム	C00703	障がい福祉課	○	—	—	○	○	○	—	—	○	○	CSV	SJIS	FTP	
4	身体障害者手帳交付システム	C01101	障害者相談支援センター	○	○	—	○	○	○	—	—	—	○	CSV	SJIS	FTP	
5	精神保健業務管理システム	C01402 C08401	障がい福祉課	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	CSV	SJIS	媒体	
6	生活保護システム	C01501 C06301	地域福祉課	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	CSV	SJIS	媒体	
7	(特別)児童扶養手当システム	C03701 C04601	子育て支援課	○	—	○	○	—	—	—	○	○	○	CSV	SJIS	媒体	
8	母子父子寡婦福祉資金貸付金システム	C04301	子育て支援課	○	—	—	○	○	—	—	—	—	○	CSV	SJIS	FTP	
9	就学支援金事務処理システム(e-shien)	C09101 K09101	私学課 教育財務課	○	—	○	—	—	—	—	○	—	—	CSV	UTF-8	媒体	業務システムと直接連携せず、データ変換ツールにて 業務システム用のファイルフォーマットに変換したうえ で連携する。

FC-001 団体内統合宛名番号付番登録 ファイルフォーマット

・CSVの用途

業務システムから団体内統合宛名番号を付番するため、個人番号等を設定し連携する。
同時に業務利用番号、基本4情報の取込も可能にする。

・CSVファイル名

ファイル名の命名規約は以下のとおり
実行モードが「本番モード」の場合 FGU_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_in.csv
実行モードが「テストモード」の場合 FGU_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_in_TEST.csv

・CSVフォーマット

ヘッダレコード

先頭一行目をヘッダ部とし、データ共通情報を設定する

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	依頼元部署コード	文字列	20	X(20)	半角英数字			処理を依頼する職員又は業務システムの所属部署を一意に識別するコードを設定 中間サーバーへの団体内統合宛名番号登録を行う際に使用 ・未設定は本システムの操作者に紐づく部署コードを設定し、中間サーバーに連携する。 ・設定時は連携された値を正として中間サーバーに連携する。
2	業務番号	文字列	10	X(10)	半角英数字			業務番号を設定 ・未設定の条件は、FTPサーバーの共有フォルダでファイル連携を行う場合 (本システムで判別する) ・ファイルサーバー、ローカルエリアを使用しファイル連携を行う場合は設定する。

データレコード

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	個人番号	文字列	12	9(12)	半角数字		必須	団体内統合宛名番号の付番を行う対象者の個人番号を設定
2	業務利用番号	文字列	15	X(15)	半角英数字			団体内統合宛名番号の付番を行う対象者の業務利用番号を設定 ※ 業務利用番号を設定する際には業務番号を必須とする。
3	団体内統合宛名番号	文字列	15	X(15)	半角英数字			未設定
4	別表1事務番号	文字列	5	9(5)	半角数字		※	基本4情報登録に係る別表1の事務番号を設定 ※基本4情報がある場合は必須とする。
5	氏名(姓)	文字列	50	Z(50)	全角		※	団体内統合宛名番号の付番を行う対象者の氏名(姓)を設定 ※基本4情報がある場合は必須とする。 ※ 氏名(姓)及び氏名(名)を1つのデータで管理している場合はこのカラムに設定する。
6	氏名(名)	文字列	50	Z(50)	全角			団体内統合宛名番号の付番を行う対象者の氏名(名)を設定 ※ 氏名(姓)及び氏名(名)を1つのデータで管理している場合は未設定。 ※ 外国人の場合、アルファベットでFirstName 全角大文字で設定する。
7	かな氏名(姓)	文字列	50	Z(50)	全角			団体内統合宛名番号の付番を行う対象者のかな氏名(姓)を設定 ※ かな氏名(姓)及びかな氏名(名)を1つのデータで管理している場合はこのカラムに設定する。 ※ 外国人の場合、LastName 日本人と同様に全角ひらがなで設定する。
8	かな氏名(名)	文字列	50	Z(50)	全角			団体内統合宛名番号の付番を行う対象者のかな氏名(名)を設定 ※ かな氏名(姓)及びかな氏名(名)を1つのデータで管理している場合は未設定。 ※ 外国人の場合、FirstName 日本人と同様に全角ひらがなで設定する。
9	性別	文字列	1	9(1)	半角数字			団体内統合宛名番号の付番を行う対象者の性別を設定 1: 男 2: 女 3: 不明
10	生年月日_年号	文字列	1	9(1)	半角数字			団体内統合宛名番号の付番を行う対象者の生年月日(年号)を設定 1: 明治 2: 大正 3: 昭和 4: 平成 0: 不明 9: 西暦 ※ 外国人の場合「9: 西暦」を設定する。
11	生年月日_年	文字列	4	9(4)	半角数字			団体内統合宛名番号の付番を行う対象者の生年月日(年)を設定 和暦(元号が「9: 西暦」の場合は西暦で設定) 0000: 不明
12	生年月日_月	文字列	2	X(2)	半角英数字			団体内統合宛名番号の付番を行う対象者の生年月日(月)を設定 月2桁 00: 不明 A1: 春 A2: 夏 A3: 秋 A4: 冬
13	生年月日_日	文字列	2	X(2)	半角英数字			団体内統合宛名番号の付番を行う対象者の生年月日(日)を設定 日2桁 00: 不明 A1: 上旬 A2: 中旬 A3: 下旬 生年月日を設定する場合は各4項目をセットで必須とする
14	住所	文字列	200	Z(200)	全角			団体内統合宛名番号の付番を行う対象者の住所を設定
15	予備1	文字列	200	Z(200)	全角			未設定

CSVフォーマットの例

"XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX", "XXXXXXXXXX"
"999999999999", "XXXXXXXXXXXXXXXX", "", "99999", "舞名", "太郎", "まいな", "たろう", "1", "4", "17", "01", "01", "〇〇県〇〇市△△区●●1-2-3", ""
"999999999999", "XXXXXXXXXXXXXXXX", "", "99999", "舞名", "次郎", "まいな", "じろう", "1", "4", "19", "01", "01", "〇〇県〇〇市△△区●●1-2-3", ""
"999999999999", "XXXXXXXXXXXXXXXX", "", "99999", "舞名", "三郎", "まいな", "さぶろう", "1", "4", "21", "01", "01", "〇〇県〇〇市△△区●●1-2-3", ""

FC-003 基本4情報登録 ファイルフォーマット

・CSVの用途

登録済の団体内統合宛名番号について、基本4情報の登録を行う。
 連携する個人番号から団体内統合宛名番号を紐付けて保有する。
 当該CSVは、既存業務システムから基本4情報を登録する際に使用する。
 既に基本4情報が登録済みで、再度連携された場合は、更新を行う。

・CSVファイル名

ファイル名の命名規約は以下のとおり
 実行モードが「本番モード」の場合 **B4I_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_in.csv**
 実行モードが「テストモード」の場合 **B4I_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_in_TEST.csv**

・CSVフォーマット

ヘッダレコード

先頭一行目をヘッダ部とし、データ共通情報を設定する

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	業務番号	文字列	10	X(10)	半角英数字			業務番号を設定 ・未設定の条件は、FTPサーバーの共有フォルダでファイル連携を行う場合 (本システムで判別する) ・ファイルサーバー、ローカルエリアを使用しファイル連携を行う場合は設定する。

データレコード

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	個人番号	文字列	12	9(12)	半角数字		※	基本4情報登録を行う対象者の個人番号を設定 ※ 個人番号、業務番号・業務利用番号、団体内統合宛名番号のいずれかを設定する。
2	業務利用番号	文字列	15	X(15)	半角英数字		※	基本4情報登録を行う対象者の業務利用番号を設定 ※ 業務利用番号を設定する際には業務番号を必須とする。 ※ 個人番号、業務番号・業務利用番号、団体内統合宛名番号のいずれかを設定する。
3	団体内統合宛名番号	文字列	15	X(15)	半角英数字		※	基本4情報登録を行う対象者の団体内統合宛名番号を設定 ※ 個人番号、業務番号・業務利用番号、団体内統合宛名番号のいずれかを設定する。
4	別表1事務番号	文字列	5	9(5)	半角数字		必須	基本4情報登録に係る別表1の事務番号を設定
5	氏名(姓)	文字列	50	Z(50)	全角		必須	基本4情報登録を行う対象者の氏名(姓)を設定 ※ 氏名(姓)及び氏名(名)を1つのデータで管理している場合はこのカラムに設定する。 ※ 外国人の場合、LastName アルファベットは全角大文字で設定する。
6	氏名(名)	文字列	50	Z(50)	全角			基本4情報登録を行う対象者の氏名(名)を設定 ※ 氏名(姓)及び氏名(名)を1つのデータで管理している場合は未設定。 ※ 外国人の場合、FirstName アルファベットは全角大文字で設定する。
7	かな氏名(姓)	文字列	50	Z(50)	全角			基本4情報登録を行う対象者のかな氏名(姓)を設定 ※ かな氏名(姓)及びかな氏名(名)を1つのデータで管理している場合はこのカラムに設定する。 ※ 外国人の場合、LastName 日本人と同様にひらがなで設定する。
8	かな氏名(名)	文字列	50	Z(50)	全角			基本4情報登録を行う対象者のかな氏名(名)を設定 ※ かな氏名(姓)及びかな氏名(名)を1つのデータで管理している場合は未設定。 ※ 外国人の場合、FirstName 日本人と同様にひらがなで設定する。
9	外国人漢字氏名	文字列	100	Z(100)	全角			基本4情報登録を行う対象者が外国人の場合に、漢字氏名がある場合、漢字氏名を設定
10	外国人漢字かな氏名	文字列	100	Z(100)	全角			基本4情報登録を行う対象者が外国人の場合に、漢字氏名がある場合、漢字氏名のかなを設定 ※日本人と同様に全角ひらがなで設定する
11	外国人通称	文字列	100	Z(100)	全角			基本4情報登録を行う対象者が外国人の場合に、住基法施行令第30条の25第1号により登録された外国人の通称を設定
12	外国人通称かな	文字列	100	Z(100)	全角			基本4情報登録を行う対象者が外国人の場合に、住基法施行令第30条の25第1号により登録された外国人の通称のかなを設定
13	性別	文字列	1	9(1)	半角数字			基本4情報登録を行う対象者の性別を設定 1: 男 2: 女 3: 不明
14	生年月日_年号	文字列	1	9(1)	半角数字			基本4情報登録を行う対象者の生年月日(年号)を設定 1: 明治 2: 大正 3: 昭和 4: 平成 0: 不明 9: 西暦 ※生年月日_年を西暦で保持している場合は「9: 西暦」を設定する。(外国人の場合も「9: 西暦」を設定する) ※項番14,15,16,17はセットで設定する。
15	生年月日_年	文字列	4	9(4)	半角数字			基本4情報登録を行う対象者の生年月日(年)を設定 和暦(元号が「9: 西暦」の場合は西暦で設定) 0000: 不明 ※項番14,15,16,17はセットで設定する。
16	生年月日_月	文字列	2	X(2)	半角英数字			基本4情報登録を行う対象者の生年月日(月)を設定 月2桁 00: 不明 A1: 春 A2: 夏 A3: 秋 A4: 冬 ※項番14,15,16,17はセットで設定する。
17	生年月日_日	文字列	2	X(2)	半角英数字			基本4情報登録を行う対象者の生年月日(日)を設定 日2桁 00: 不明 A1: 上旬 A2: 中旬 A3: 下旬 ※項番14,15,16,17はセットで設定する。
18	住所	文字列	200	Z(200)	全角			基本4情報登録を行う対象者の住所を設定

CSVフォーマットの例

```
"XXXXXXXXXX"
"999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXXXX","99999","舞名","太郎","まいな","たろう","","","","1","4","17","01","01","〇〇県□□市△△区●●1-2-3"
"999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXXXX","99999","舞名","次郎","まいな","じろう","","","","1","4","19","01","01","〇〇県□□市△△区●●1-2-3"
"999999999999","","","99999","舞名",",,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,"
"999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXXXX","99999","M A I N A","H A N A K O","まいな","はなこ","舞名","花子","","2","9","1975","01","01",
"〇〇県□□市△△区●●1-2-4"
```

FC-004 情報照会登録 ファイルフォーマット

・CSVの用途

中間サーバーに対し情報照会を情報照会内容ファイルの登録により要求する際、CSV形式ファイルから照会情報を取り込んで照会用XMLを作成する。
ここでは情報照会CSV様式について定義する。

情報照会では1回の要求で複数の照会を要求可能。

- 1) 複数の対象者の団体内統合宛名番号を指定（個人番号または業務利用番号を指定したときは団体内統合宛名番号に変換）
- 2) 同一の対象者でも複数の情報提供者機関を指定
- 3) 同一の対象者でも複数の特定個人情報情報を指定
- 4) 特定個人情報内で特定個人情報の項目コードを複数指定

CSVファイル形式であるためn件の繰り返しを組み合わせて行うと列方向が不定となるため次の仕様とする。

- ・ 複数の対象者の場合、対象者ごとにレコードを分ける。
- ・ 複数の情報提供者機関を指定する場合、情報提供者機関ごとにレコードを分ける。
- ・ 複数の特定個人情報情報を照会する場合、特定個人情報ごとにレコードを分ける。
- ・ 特定個人情報の項目コードを指定する場合、導入時に設定するシステムプロパティ：最大検索項目選択数（デフォルトでは100個。個数については要検討）まで列挙可能とする。
- ・ 最大検索項目選択数を超える場合は制限事項とする。を超える場合、特定個人情報の項目コードにより項目を選択することはせず、特定個人情報名コードに属する項目全てを取得するものとする。

中間サーバーに対し照会要求を出す際は同じ団体内統合宛名番号、情報提供機関コードのものは1件の要求データにまとめるものとする。

・CSVファイル名

ファイル名の命名規約は以下のとおり

実行モードが「本番モード」の場合 SKI_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_in.csv
実行モードが「テストモード」の場合 SKI_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_in_TEST.csv

・CSVフォーマット

ヘッダレコード

先頭一行目をヘッダ部とし、データ共通情報を設定する

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	依頼元部署コード	文字列	20	X(20)	半角英数字			処理を依頼する職員又は業務システムの所属部署を一意に識別するコードを設定 中間サーバーへの情報照会登録を行う際に使用 ・未設定は本システムの操作者に紐づく部署コードを設定し、中間サーバーに連携する。 ・設定時は連携された値を正として中間サーバーに連携する。
2	業務番号	文字列	10	X(10)	半角英数字			業務番号を設定 ・未設定の条件は、FTPサーバーの共有フォルダでファイル連携を行う場合 (本システムで判別する) ・ファイルサーバー、ローカルエリアを使用しファイル連携を行う場合は設定する。

データレコード

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	個人番号	文字列	12	9(12)	半角数字		※	情報照会を行う対象者の個人番号を設定 ※ 個人番号、業務番号・業務利用番号、団体内統合宛名番号のいずれかを設定する。
2	業務利用番号	文字列	15	X(15)	半角英数字		※	情報照会を行う対象者の業務利用番号を設定 ※ 業務利用番号を設定する際には業務番号を必須とする。 ※ 個人番号、業務番号・業務利用番号、団体内統合宛名番号のいずれかを設定する。
3	団体内統合宛名番号	文字列	15	X(15)	半角英数字		※	情報照会を行う対象者の団体内統合宛名番号を設定 ※ 個人番号、業務番号・業務利用番号、団体内統合宛名番号のいずれかを設定する。
4	照会側不表示コード	文字列	1	9(1)	半角数字		必須	情報照会者の不表示コードを設定 1：開示 2：不開示
5	事務コード	文字列	16	X(16)	半角英数字		必須	情報照会を行う事務の事務コードを設定 ※NWS配信ファイル「事務マスター配信用ファイル」より設定する。
6	事務手続コード	文字列	16	X(16)	半角英数字		必須	情報照会を行う事務の事務手続コードを設定 ※NWS配信ファイル「事務手続マスター配信用ファイル」より設定する。
7	情報提供者機関コード（委任元）	文字列	16	9(16)	半角数字			情報提供者機関コードに対する委任元の機関コードを設定 ※NWS配信ファイル「機関マスター配信用ファイル」より設定する。
8	情報提供者機関コード	文字列	16	9(16)	半角数字			情報提供者の機関コードを設定 ※NWS配信ファイル「機関マスター配信用ファイル」より設定する。
9	特定個人情報名コード	文字列	16	X(16)	半角英数字		必須	情報提供対象となる特定個人情報名コードを設定 （「外部インターフェイス仕様書 別紙2コード定義書 第1.3版 1.3.66 特定個人情報名コード」を参照） ※ 値は、NWS配信ファイル「特定個人情報名マスター配信用ファイル」より設定する。
10	情報照会条件	文字列	50	X(50)	半角英数記号			情報照会を行う際の問い合わせ期間条件がある場合は設定 (設定方法は下記の「情報照会条件の記入方法」参照)
11	予備1	文字列	200	Z(200)	全角			未設定
12	特定個人情報の項目コード1	文字列	16	X(16)	半角英数字			情報照会対象となる特定個人情報の項目コードを設定 （「外部インターフェイス仕様書 別紙2コード定義書 第1.3版 1.3.46 特定個人情報の項目コード」を参照） ※ 値は、NWS配信ファイル「特定個人情報の項目マスター配信用ファイル」より設定する。 ※最大検索項目選択数を超える場合は制限事項とする。を超える場合、特定個人情報の項目コードにより項目を選択することはせず、特定個人情報名コードに属する項目全てを取得するものとする。
13	特定個人情報の項目コード2	文字列	16	X(16)	半角英数字			※ 照会が必要な項目は全て設定を行うものとする（まとめタグのみは不可とする）
14	特定個人情報の項目コード3	文字列	16	X(16)	半角英数字			n回の繰り返しあり 上限値を100とする
	⋮	⋮						⋮
n	特定個人情報の項目コードn	文字列	16	X(16)	半角英数字			

CSVフォーマットの例

"XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXX"
"999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX","2","JMXXXXXXXXXXXXXXXX","JTXXXXXXXXXXXXXXXX","9999999999999999","9999999999999999","TMXXXXX
XXXXXXXXXX",""" ""
"999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX","2","JMXXXXXXXXXXXXXXXX","JTXXXXXXXXXXXXXXXX","9999999999999999","9999999999999999","TMXXXXX
XXXXXXXXXX","MonthFROM=999999,MonthTO=999999",""
"999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX","2","JMXXXXXXXXXXXXXXXX","JTXXXXXXXXXXXXXXXX","9999999999999999","9999999999999999","TMXXXXX
XXXXXXXXXX",""" "","TK00000800000030","TK00000800000035"

・情報照会条件の記入方法

※詳しくは、「情報提供ネットワークシステムにおける特定個人情報データの取扱いに係る 共通指針 第04.01版」の「2.2.2 情報照会条件の表記方法と情報提供者からの情報提供内容」を参照

- ・情報照会時に指定できる情報照会条件は、表2-1 のいずれかとする。
- ・情報照会条件が「既定（デフォルト）」の場合は情報照会条件の指定を省略可能。

表2-1 情報照会条件の種類

項番	情報照会条件の種類	定義
1	既定（デフォルト）	情報照会の対象となる個人に対し、情報提供者における現時点の最新の特定個人情報を照会する。
2	時点指定	情報照会の対象となる個人に対し、情報提供者における指定時点における最新の特定個人情報を照会する。
3	範囲指定	情報照会の対象となる個人に対し、情報提供者における一定期間の特定個人情報を照会する。

（1）既定（デフォルト）
情報照会条件として、何も指定しない。

（2）時点指定
時点指定の情報照会を行う場合、表2-2のいずれかを指定する。
指定できる時点は、現時点または現時点より過去とする。

表2-2 情報照会条件の指定方法（時点指定の場合）

項番	情報照会条件の指定方法	情報照会条件の表記	提供データ	
			確定時点	データ数
1	日付指定	Date=YYYYMMDD	日次	1
2	月指定	Month=YYYYMM	月次	1
3	年指定	Year=YYYY	年次	1
4	業務年度指定	BYear=YYYY	年次（年度）	1

（3）範囲指定
範囲指定の情報照会を行う場合、表2-3のいずれかを指定する。
範囲指定によって得られる特定個人情報は1つ以上とする。
それぞれの照会条件においてFROMに指定する時点は、TOよりも同時点または前の時点とする。

表2-3 情報照会条件の指定方法（範囲指定の場合）

項番	情報照会条件の指定方法	情報照会条件の表記	提供データ	
			確定時点	データ数
1	日付範囲指定	DateFROM=YYYYMMDD,DateTO=YYYYMMDD	日次	1以上
2	月範囲指定	MonthFROM=YYYYMM,MonthTO=YYYYMM	月次	1以上
3	年範囲指定	YearFROM=YYYY,YearTO=YYYY	年次	1以上
4	業務年度範囲指定	BYearFROM=YYYY,BYearTO=YYYY	年次（年度）	1以上

（備考）
表2-2及び表2-3において、YYYYは西暦、MMは月（01～12）、DDは日（01～31）を表すものとし、
月及び日において桁を満たさない場合、上位桁に0を埋めること。

FC-005 特定個人情報登録 ファイルフォーマット

・ CSVの用途

既存業務システム等で管理される特定個人情報の副本を団体内統合宛名システムへ登録する為に使用する。
以下に示すレイアウトで団体内統合宛名システムへ取込を行うことにより、特定個人情報が登録可能。

・ CSV登録できる特定個人情報

国より提供の「データ標準レイアウト」に記載される特定個人情報について、既存業務システム等から副本の登録を行う。

・ CSVファイル名

ファイル名の命名規約は以下のとおり
実行モードが「本番モード」の場合 DBM_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_in.csv
実行モードが「テストモード」の場合 DBM_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_in_TEST.csv

・ CSVファイル作成方法

別紙「特定個人情報登録CSVの作成方法」参照

・ CSVフォーマット

ヘッダレコード

先頭一行目をヘッダ部とし、データ共通情報を設定する

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	依頼元部署コード	文字列	20	X(20)	半角英数字			処理を依頼する職員又は業務システムの所属部署を一意に識別するコードを設定 中間サーバーへの特定個人情報登録を行う際に使用 ・ 未設定は本システムの操作者に紐づく部署コードを設定し、中間サーバーに連携する。 ・ 設定時は連携された値を正として中間サーバーに連携する。
2	副本登録不可フラグ	文字列	1	9(1)	半角数字			以下に示す場合を除きNULLを設定する 既存業務システムが、直接特定個人情報を中間サーバー(副本)に提供し、団体内統合宛名システムに当該特定個人情報を補完的に登録する場合、設定値を"1"とする NULL：副本登録する 1：副本登録しない
3	業務番号	文字列	10	X(10)	半角英数字			業務番号を設定 ・ 未設定の条件は、FTPサーバーの共有フォルダでファイル連携を行う場合 (本システムで判別する) ・ ファイルサーバー、ローカルエリアを使用しファイル連携を行う場合は設定する。
4	登録区分	文字列	1	9(1)	半角数字			特定個人情報の削除を行う場合、"1"を設定 NULL：登録する 1：削除する

データレコード

特定個人情報の改版・追加を改修なしで行えるよう、アクティブなフィールド定義でフォーマットを設定する

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	個人番号	文字列	12	9(12)	半角数字		※	情報提供を行う対象者の個人番号を設定 ※ 個人番号、業務番号、業務利用番号、団体内統合宛名番号のいずれかを設定する。
2	業務利用番号	文字列	15	X(15)	半角英数字		※	情報提供を行う対象者の業務利用番号を設定 ※ 業務利用番号を設定する際には業務番号の入力は必須とする。 ※ 個人番号、業務番号、業務利用番号、団体内統合宛名番号のいずれかを設定する。
3	団体内統合宛名番号	文字列	15	X(15)	半角英数字		※	情報提供を行う対象者の団体内統合宛名番号を設定 ※ 個人番号、業務番号、業務利用番号、団体内統合宛名番号のいずれかを設定する。
4	別表1事務番号	文字列	5	9(5)	半角数字		必須	特定個人情報の登録に係る別表1の事務番号を設定
5	特定個人情報名コード	文字列	16	X(16)	半角英数字		必須	情報提供対象となる特定個人情報名コードを設定 (「外部インターフェイス仕様書 別紙2コード定義書 第1.3版 1.3.66 特定個人情報名コード」を参照) ※ 値は、NWS配信ファイル「特定個人情報名マスター配信用ファイル」より設定する。
6	観項目コード	文字列	16	X(16)	半角英数字		必須	データセットの識別に使用する観項目コードを設定 ※ 項目コントロールマスタで定義されている観項目コードを設定する。
7	確定時点	文字列	10	X(10)	半角英数字		必須	既存業務システム等により、確定処理を行った年月日・年月・年・業務年度を設定 年月日：yyyy-mm-dd 年月：yyyymm 年・業務年度：yyyy
8	修正時点	文字列	19	X(19)	半角英数字			既存業務システム等により、確定処理を行った後に、当該データを修正した日時を設定 日時：yyyy/mm/dd HH:mm:ss
9	予備1	文字列	200	Z(200)	全角			未設定
10	データ項目1	文字列	256	Z(256)	指定なし		}	特定個人情報の項目値を設定 データ項目n n：データセット毎の項番に示される項目の値
11	データ項目2	文字列	256	Z(256)	指定なし			特定個人情報の各項目の設定については、特定個人情報_CSVデータフォーマット定義を参照
12	データ項目3	文字列	256	Z(256)	指定なし			n回の繰り返しあり 上限値を100とする
	:	:						
n	データ項目 n	文字列	256	Z(256)	指定なし			※ 設定項目の詳細は、標準レイアウトを参照

CSVフォーマットの例

```
"XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX", "", "XXXXXXXXXXXX", ""
"999999999999", "XXXXXXXXXXXXXXXX", "XXXXXXXXXXXXXXXX", "99999", "TM000000000000015", "TK00001500000010", "2014-05-02", "", "", "2014-04-13", ""
"999999999999", "XXXXXXXXXXXXXXXX", "XXXXXXXXXXXXXXXX", "99999", "TM000000000000015", "TK000015000000055", "201405", "", "",
"201405", "1", "1", "1", "0", "1", "1", "1", "1", "123456789", "123456"
"999999999999", "XXXXXXXXXXXXXXXX", "XXXXXXXXXXXXXXXX", "99999", "TM000000000000015", "TK000015000000055", "201406", "", "",
"201406", "1", "1", "1", "0", "1", "1", "1", "1", "123456789", "123456"
"999999999999", "XXXXXXXXXXXXXXXX", "XXXXXXXXXXXXXXXX", "99999", "TM000000000000015", "TK00001500000010", "2014-06-02", "", "", "2014-04-13", "2014-06-30"
"999999999999", "XXXXXXXXXXXXXXXX", "XXXXXXXXXXXXXXXX", "99999", "TM000000000000015", "TK00001500000165", "201405", "", "", "201405", "32165"
```


FC-006 団体内統合宛名番号付番登録(状況確認) ファイルフォーマット

・ CSVの用途

下記 3 ファイルを取り込んだ際に、入力チェックでエラーが発生した場合、確認用としてエラー状況が反映されたデータを全件出力する。

- ・ FC-001 団体内統合宛名番号付番登録

なお、当該ファイルは、下記の2パターンを契機として出力される。

登録（一括）：登録（一括）画面より、「CSV出力」ボタン押下時にはローカルや媒体に出力する。

登録（一括）：登録（一括）画面より、「統合宛名番号付番」ボタン押下時には連携方式により指定されたフォルダに出力する。

※業務システムと団体内統合宛名システムのコード値に差異がある場合、団体内統合宛名システムのコード値に変換された値を設定する。

・ CSVファイル名

ファイル名の命名規約は以下のとおり

実行モードが「本番モード」の場合 **FGU_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_out.csv**

実行モードが「テストモード」の場合 **FGU_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_out_TEST.csv**

・ CSVフォーマット

ヘッダレコード

先頭一行目をヘッダ部とし、データ共通情報を設定する

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	依頼元部署コード	文字列	20	X(20)	半角英数字			連携された「依頼元部署コード」の内容をそのまま設定
2	業務番号	文字列	10	X(10)	半角英数字			連携された「業務番号」の内容をそのまま設定

データレコード

順番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	個人番号	文字列	12	9(12)	半角数字		必須	連携された「個人番号」の内容をそのまま設定
2	業務利用番号	文字列	15	X(15)	半角英数字			連携された「業務利用番号」の内容をそのまま設定
3	団体内統合宛名番号	文字列	15	X(15)	半角英数字			団体内統合宛名番号の付番が行われていた場合は、団体内統合宛名番号を設定
4	符号取得ステータスコード	文字列	5	9(5)	半角数字			符号の取得状態を示すコードを設定 0:符号取得要求登録未 1:符号取得依頼待ち 2:符号取得依頼済み 3:符号取得済み 4:エラー
5	氏名（姓）	文字列	50	Z(50)	全角			連携された「氏名（姓）」の内容をそのまま設定
6	氏名（名）	文字列	50	Z(50)	全角			連携された「氏名（名）」の内容をそのまま設定
7	かな氏名（姓）	文字列	50	Z(50)	全角			連携された「かな氏名（姓）」の内容をそのまま設定
8	かな氏名（名）	文字列	50	Z(50)	全角			連携された「かな氏名（名）」の内容をそのまま設定
9	性別	文字列	1	9(1)	半角数字			連携された「性別」の内容をそのまま設定
10	生年月日_年号	文字列	1	9(1)	半角数字			連携された「生年月日_年号」の内容をそのまま設定
11	生年月日_年	文字列	4	9(4)	半角数字			連携された「生年月日_年」の内容をそのまま設定
12	生年月日_月	文字列	2	X(2)	半角英数字			連携された「生年月日_月」の内容をそのまま設定
13	生年月日_日	文字列	2	X(2)	半角英数字			連携された「生年月日_日」の内容をそのまま設定
14	住所	文字列	200	Z(200)	全角			連携された「住所」の内容をそのまま設定
15	エラー状況	文字列	200	Z(200)	全角			FC-001 団体内統合宛名番号付番登録ファイルの取込時に、団体内統合宛名システムで検出したエラー状況を設定

CSVフォーマットの例

[illegible]

FC-007 符号取得状況 ファイルフォーマット

- ・CSVの用途
付番を行った団体内統合宛番号の符号取得状況を確認する。
符号取得状況確認：取得状況 画面において、一覧表示した情報を「CSV出力」ボタン押下時に出力する。

- ・CSVファイル名
ファイル名の命名規約は以下のとおり
実行モードが「本番モード」の場合 FSJ_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_out.csv
実行モードが「テストモード」の場合 FSJ_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_out_TEST.csv

- ・CSVフォーマット
ヘッダレコード
設定なし

データレコード

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	個人番号	文字列	12	9(12)	半角数字		必須	符号取得要求を行った対象者の個人番号を設定
2	団体内統合宛番号	文字列	15	X(15)	半角英数字		必須	符号取得要求を行った対象者の団体内統合宛番号を設定
3	レコード識別番号	文字列	16	X(16)	半角英数字			中間サーバーに対して複数の依頼を一括で要求する場合において、個々の依頼を区別するために団体内統合宛名システムが採番する番号を設定
4	氏名	文字列	100	Z(100)	全角			符号取得要求を行った対象者の氏名を設定 (氏と名の間には全角スペースが入る)
5	符号取得ステータスコード	文字列	1	9(1)	半角数字			符号の取得状態を示すコードを設定 0:符号取得要求登録未 1:符号取得依頼待ち 2:符号取得依頼済み 3:符号取得済み 4:エラー
6	符号取得ステータス	文字列	20	Z(20)	全角			符号取得ステータスコードの内容を設定 0：符号取得要求登録未 1：符号取得依頼待ち 2：符号取得依頼済み 3：符号取得済み 4：エラー
7	符号要求受付日時	文字列	19	X(19)	半角英数字			中間サーバーが符号取得要求を受け付けた日時を設定 フォーマット：yyyy-MM-dd hh:mm:ss
8	処理結果メッセージ	文字列	256	Z(256)	全角			情報提供ネットワークシステムから返却された処理結果や中間サーバー・ソフトウェアで発生したエラー等を示すメッセージを設定 (「外部インターフェイス仕様書 第1.3版 6. 異常時の対応」を参照)
9	要求ユーザーID	文字列	20	X(20)	半角英数字			符号取得要求を行った際のユーザーIDを設定
10	要求ユーザー名	文字列	100	Z(100)	全角			符号取得要求を行った際のユーザー名を設定

CSVフォーマットの例

"999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXXXX","舞名 太郎","2","符号取得依頼済み","2017-07-03 14:55:00","","XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX","住基 太郎"
"999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXXXX","舞名 次郎","2","符号取得依頼済み","2017-07-03 14:55:00","","XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX","住基 太郎"
"999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXXXX","舞名 三郎","2","符号取得依頼済み","2017-07-03 14:55:00","","XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX","住基 太郎"
"999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXXXX","M A I N A H A N A K O","4","エラー","2016-03-26 13:31:16","
"個人番号が未登録です","XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX","住基 太郎"

FC-011 情報照会登録(状況確認) ファイルフォーマット

・CSVの用途

FC-004 情報照会登録ファイルを取り込んだ際に、入力チェック等でエラーが発生した場合、確認用としてエラー状況が反映されたデータを全件出力する。
なお、当該ファイルは、照会登録（一括）：照会登録（一括）画面より、「CSV出力」ボタン押下時に出力される。
※業務システムと団体内統合宛名システムのコード値に差異がある場合、団体内統合宛名システムのコード値に変換された値を設定する。

・CSVファイル名

ファイル名の命名規約は以下のとおり
実行モードが「本番モード」の場合 SKI_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_out.csv
実行モードが「テストモード」の場合 SKI_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_out_TEST.csv

・CSVフォーマット

ヘッダレコード

先頭一行目をヘッダ部とし、データ共通情報を設定する

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	依頼元部署コード	文字列	20	X(20)	半角英数字			連携された「依頼元部署コード」の内容をそのまま設定
2	業務番号	文字列	10	X(10)	半角英数字			連携された「業務番号」の内容をそのまま設定

データレコード

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	個人番号	文字列	12	9(12)	半角数字			連携された「個人番号」の内容をそのまま設定
2	業務利用番号	文字列	15	X(15)	半角英数字			連携された「業務利用番号」の内容をそのまま設定
3	団体内統合宛名番号	文字列	15	X(15)	半角英数字			連携された「団体内統合宛名番号」の内容をそのまま設定
4	照会側不開示コード	文字列	1	9(1)	半角数字		必須	連携された「照会側不開示コード」の内容をそのまま設定
5	事務コード	文字列	16	X(16)	半角英数字		必須	連携された「事務コード」の内容をそのまま設定
6	事務手続コード	文字列	16	X(16)	半角英数字		必須	連携された「事務手続コード」の内容をそのまま設定
7	情報提供者機関コード（委任元）	文字列	16	9(16)	半角数字			連携された「情報提供者機関コード（委任元）」の内容をそのまま設定
8	情報提供者機関コード	文字列	16	9(16)	半角数字			連携された「情報提供者機関コード」の内容をそのまま設定
9	特定個人情報名コード	文字列	16	X(16)	半角英数字		必須	連携された「特定個人情報名コード」の内容をそのまま設定
10	情報照会条件	文字列	50	X(50)	半角英数字 記号			連携された「情報照会条件」の内容をそのまま設定
11	エラー状況	文字列	200	Z(200)	全角			FC-004 情報照会登録ファイルの取込時に、団体内統合宛名システムで検知したエラー状況を設定
12	特定個人情報の項目コード1	文字列	16	X(16)	半角英数字			連携された「特定個人情報の項目コード1」の内容をそのまま設定
13	特定個人情報の項目コード2	文字列	16	X(16)	半角英数字			連携された「特定個人情報の項目コード2」の内容をそのまま設定
14	特定個人情報の項目コード3	文字列	16	X(16)	半角英数字			n回の繰り返しあり 上限値を100とする
	⋮	⋮						⋮
n	特定個人情報の項目コードn	文字列	16	X(16)	半角英数字			

CSVフォーマットの例

"XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXX"
"9999999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXXX","2","JMXXXXXXXXXXXXX","JTXXXXXXXXXXXXX","9999999999999999",
"9999999999999999","TMXXXXXXXXXXXXX","","照会先不明"

FC-012 特定個人情報(情報照会結果) ファイルフォーマット

・CSVの用途

情報照会要求に対しての結果を画面で確認した際に、確認用としてファイルに出力する。
照会状況：照会 画面において、「CSV出力」ボタン押下時に出力する。

・CSVファイル名

ファイル名の命名規約は以下のとおり
実行モードが「本番モード」の場合 SKK_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_out.csv
実行モードが「テストモード」の場合 SKK_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_out_TEST.csv

・CSVフォーマット

ヘッダレコード
先頭一行目をヘッダ部とし、データ共通情報を設定する

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	依頼元部署コード	文字列	20	X(20)	半角英数字			中間サーバーとの連携に使用した依頼元部署コードを設定
2	予備1	文字列	1	9(1)	半角数字			未設定
3	業務番号	文字列	10	X(10)	半角英数字			情報照会を行った対象の業務番号を設定
4	予備2	文字列	1	9(1)	半角数字			未設定

データレコード
特定個人情報の改版・追加を改修なしで行えるよう、アクティブなフィールド定義でフォーマットを設定する

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	個人番号	文字列	12	9(12)	半角数字		必須	情報照会を行った対象者の個人番号を設定
2	業務利用番号	文字列	15	X(15)	半角英数字			情報照会を行った対象者の業務利用番号を設定
3	団体内統合宛名番号	文字列	15	X(15)	半角英数字		必須	情報照会を行った対象者の団体内統合宛名番号を設定
4	別表1事務番号	文字列	5	9(5)	半角数字		必須	別表1の事務番号を設定
5	特定個人情報名コード	文字列	16	X(16)	半角英数字		必須	情報提供対象となる特定個人情報名コードを設定 (「外部インターフェイス仕様書 別紙2コード定義書 第1.3版 1.3.66 特定個人情報名コード」を参照) ※ 値は、NWS配信ファイル「特定個人情報名マスター配信用ファイル」より設定する。
6	親項目コード	文字列	16	X(16)	半角英数字		必須	データセットの識別に使用する親項目コードを設定 ※項目コントロールマスターで定義されている親項目コードを設定する。
7	確定時点	文字列	10	X(10)	半角英数字		必須	情報提供側から取得した確定時点を設定 年月日：yyyy-mm-dd 年月：yyyymm 年・業務年度：yyyy
8	修正時点	文字列	19	X(19)	半角英数字			情報提供側から取得した修正時点を設定 日時：yyyy/mm/dd HH:mm:ss
9	予備3	文字列	200	Z(200)	全角			
10	データ項目1	文字列	256	Z(256)	指定なし			特定個人情報の項目値を設定 データ項目n：データセット毎の項番に示される項目の値
11	データ項目2	文字列	256	Z(256)	指定なし			特定個人情報の各項目の設定については、特定個人情報_CSVデータフォーマット定義を参照
12	データ項目3	文字列	256	Z(256)	指定なし			n回の繰り返しあり 上限値を100とする
	⋮	⋮						
n	データ項目 n	文字列	256	Z(256)	指定なし			※ 設定項目の詳細は、標準レイアウトを参照

CSVフォーマットの例

```
"XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX" "" "XXXXXXXXXX" ""
"999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXX","99999","TM000000000000015","TK00001500000010","2014-05-02","","","2014-04-13",""
"999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXX","99999","TM000000000000015","TK00001500000055","201405","","",
"201405","1","1","1","0","1","1","1","1","123456789","123456"
"999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXX","99999","TM000000000000015","TK00001500000055","201406","","",
"201406","1","1","1","0","1","1","1","1","123456789","123456"
"999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXX","99999","TM000000000000015","TK00001500000010","2014-06-02","","","2014-04-13","2014-06-30"
"999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXX","99999","TM000000000000015","TK00001500000165","201405","","","201405","32165"
```

FC-015 特定個人情報登録(エラー) ファイルフォーマット

・CSVの用途

FC-005 特定個人情報登録ファイルを入力チェック等でエラーが発生した場合、
確認用としてエラー状況が反映されたデータを出力する。
なお、当該ファイルは、情報登録（一括）：登録（一括）画面より、「エラー分出力」ボタン押下時に出力される。
※業務システムと団体内統合宛名システムのコード値に差異がある場合、団体内統合宛名システムのコード値に変換された値を設定する。

・CSVファイル名

ファイル名の命名規約は以下のとおり
実行モードが「本番モード」の場合 DBM_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_out.csv
実行モードが「テストモード」の場合 DBM_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_out_TEST.csv

・CSVフォーマット

ヘッダレコード
先頭一行目をヘッダ部とし、データ共通情報を設定する

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	依頼元部署コード	文字列	20	X(20)	半角英数字			連携された「依頼元部署コード」の内容をそのまま設定
2	副本登録不可フラグ	文字列	1	9(1)	半角数字			連携された「副本登録不可フラグ」の内容をそのまま設定
3	業務番号	文字列	10	X(10)	半角英数字			連携された「業務番号」の内容をそのまま設定
4	登録区分	文字列	1	9(1)	半角数字			連携された「登録区分」の内容をそのまま設定

データレコード
特定個人情報の改版・追加を改修なしで行えるよう、アクティブなフィールド定義でフォーマットを設定する

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	個人番号	文字列	12	9(12)	半角数字			連携された「個人番号」の内容をそのまま設定
2	業務利用番号	文字列	15	X(15)	半角英数字			連携された「業務利用番号」の内容をそのまま設定
3	団体内統合宛名番号	文字列	15	X(15)	半角英数字			連携された「団体内統合宛名番号」の内容をそのまま設定
4	別表1事務番号	文字列	5	9(5)	半角数字		必須	連携された「別表1事務番号」の内容をそのまま設定
5	特定個人情報名コード	文字列	16	X(16)	半角英数字		必須	連携された「特定個人情報名コード」の内容をそのまま設定
6	親項目コード	文字列	16	X(16)	半角英数字		必須	連携された「親項目コード」の内容をそのまま設定
7	確定時点	文字列	10	X(10)	半角英数字		必須	連携された「確定時点」の内容をそのまま設定
8	修正時点	文字列	19	X(19)	半角英数字			連携された「修正時点」の内容をそのまま設定
9	エラー状況	文字列	200	Z(200)	全角			FC-005 特定個人情報登録ファイルの取込時に、団体内統合宛名システムで検知したエラー状況を設定
10	データ項目1	文字列	256	Z(256)	指定なし		}	連携された「データ項目1」の内容をそのまま設定
11	データ項目2	文字列	256	Z(256)	指定なし			特定個人情報の各項目の設定については、特定個人情報_CSVデータフォーマット定義を参照
12	データ項目3	文字列	256	Z(256)	指定なし			n回の繰り返しあり 上限値を100とする
	⋮	⋮						
n	データ項目 n	文字列	256	Z(256)	指定なし			※ 設定項目の詳細は、標準レイアウトを参照

CSVフォーマットの例

"XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX"/,"" "XXXXXXXXXXXX" ""
"9999999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXXX","99999","TM000000000000015","TK00001500000010","2014-05-02","2014-04-13 11:22:33",""
"9999999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXXX","99999","TM000000000000015","TK00001500000010","2014-05-02","2014-04-13 11:22:33","特定個人情報名
コードが不正です"
"9999999999999999","XXXXXXXXXXXXXXXXX","XXXXXXXXXXXXXXXXX","99999","TM000000000000015","TK00001500000010","2014-05-02","2014-04-13 11:22:33","確定時点は必須入
力です"

FC-016 特定個人情報確認 ファイルフォーマット

・CSVの用途

特定個人情報（連携対象）を副本登録又は一時情報登録する直前で、登録内容を確認するために出力するファイル
「登録内容確認：登録内容確認」画面において、表示された特定個人情報（連携対象）を「CSV出力」ボタン押下時、ローカルや媒体に出力する。

・CSVファイル名

ファイル名の命名規約は以下のとおり
実行モードが「本番モード」の場合 DBM_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_out.csv
実行モードが「テストモード」の場合 DBM_{ユーザーID}_{ファイル作成日時}_out_TEST.csv

・CSVフォーマット

ヘッダレコード
先頭一行目をヘッダ部とし、データ共通情報を設定する

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	依頼元部署コード	文字列	20	X(20)	半角英数字			中間サーバーとの連携に使用した依頼元部署コードを設定する
2	予備 1	文字列	1	9(1)	半角数字			未設定
3	業務番号	文字列	10	X(10)	半角英数字			情報提供を行った対象の業務番号を設定する
4	予備 2	文字列	1	9(1)	半角数字			未設定

データレコード
特定個人情報の改版・追加を改修なしで行えるよう、アクティブなフィールド定義でフォーマットを設定する

項番	カラム名称	データ型	桁数	フォーマット	文字種	小数	必須	備考
1	個人番号	文字列	12	9(12)	半角数字		必須	情報提供を行った対象者の個人番号を設定する
2	業務利用番号	文字列	15	X(15)	半角英数字			情報提供を行った対象者の業務利用番号を設定する
3	団体内統合宛名番号	文字列	15	X(15)	半角英数字			情報提供を行った対象者の団体内統合宛名番号を設定する
4	別表1事務番号	文字列	5	9(5)	半角数字		必須	別表1の事務番号を設定する
5	特定個人情報名コード	文字列	16	X(16)	半角英数字		必須	情報提供対象となる特定個人情報名コードを設定する ※ 「外部インターフェイス仕様書 別紙2コード定義書 第1.3版 1.3.66 特定個人情報名コード」を参照 ※ 値は、NWS配信ファイル「特定個人情報名マスター配信用ファイル」より設定する
6	親項目コード	文字列	16	X(16)	半角英数字		必須	データセットの識別に使用する親項目コードを設定 ※項目コントロールマスターで定義されている親項目コードを設定する。
7	確定時点	文字列	10	X(10)	半角英数字		必須	確定時点を設定する
8	修正時点	文字列	19	X(19)	半角英数字			修正時点を設定する
9	予備3	文字列	200	Z(200)	全角			未設定
10	データ項目1	文字列	256	Z(256)	指定なし			特定個人情報の項目値を設定 データ項目n n：データセット毎の項番に示される項目の値
11	データ項目2	文字列	256	Z(256)	指定なし			特定個人情報の各項目の設定については、特定個人情報_CSVデータフォーマット定義を参照
12	データ項目3	文字列	256	Z(256)	指定なし			n回の繰り返しあり 上限値を100とする
	⋮	⋮						
n	データ項目 n	文字列	256	Z(256)	指定なし			※ 設定項目の詳細は、標準レイアウトを参照

CSVフォーマットの例

"XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX", "", "XXXXXXXXXXXX", ""
"999999999999", "XXXXXXXXXXXXXXXXXX", "XXXXXXXXXXXXXXXXXX", "99999", "TM000000000000015", "TK00001500000010", "2014-05-02", "", "", "2014-04-13", ""
"999999999999", "XXXXXXXXXXXXXXXXXX", "XXXXXXXXXXXXXXXXXX", "99999", "TM000000000000015", "TK000015000000055", "201405", "", "",
"201405", "1", "1", "1", "0", "1", "1", "1", "1", "123456789", "123456"
"999999999999", "XXXXXXXXXXXXXXXXXX", "XXXXXXXXXXXXXXXXXX", "99999", "TM000000000000015", "TK000015000000055", "201406", "", "",
"201406", "1", "1", "1", "0", "1", "1", "1", "1", "123456789", "123456"
"999999999999", "XXXXXXXXXXXXXXXXXX", "XXXXXXXXXXXXXXXXXX", "99999", "TM000000000000015", "TK00001500000010", "2014-06-02", "", "", "2014-04-13", "2014-06-30"
"999999999999", "XXXXXXXXXXXXXXXXXX", "XXXXXXXXXXXXXXXXXX", "99999", "TM000000000000015", "TK00001500000165", "201405", "", "", "201405", "32165"